

トウバナ (塔花)

名前の意味：花が何輪も重なって付く様子を塔にたとえた

分類：双子葉類、シソ科、トウバナ属

(シソ科の栽培植物：ハッカ、ミント、ラベンダー、シソ)

好きな場所：明るい湿った道ばた

分布：本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生)

特徴：背が低く地面からむらがる茎、

対生するスぺード形の葉、密集

するピンク色の小さな花。

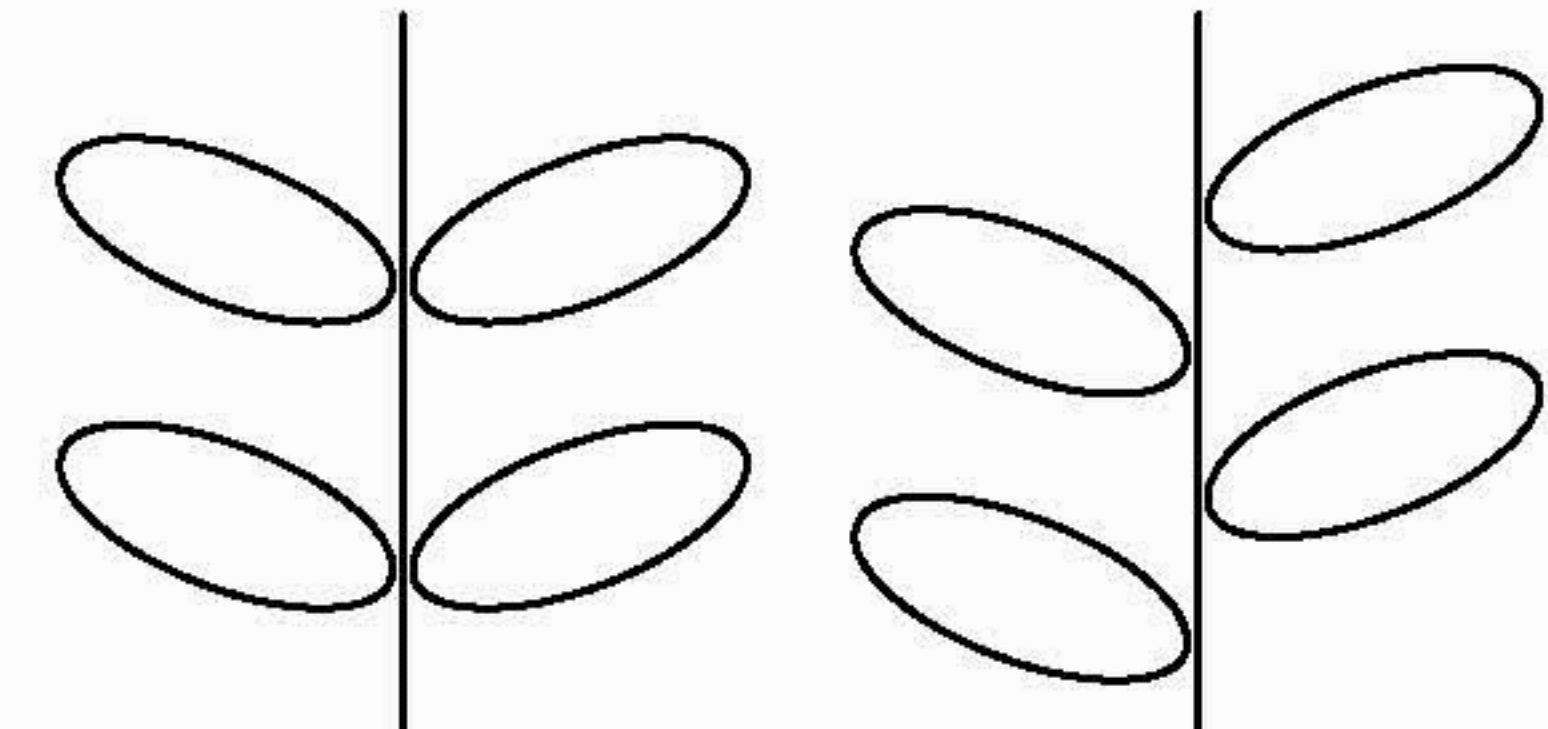
種子の運ばれかた：そのまま落ちる

花弁の数：合弁、5裂

花の時期：4—5月

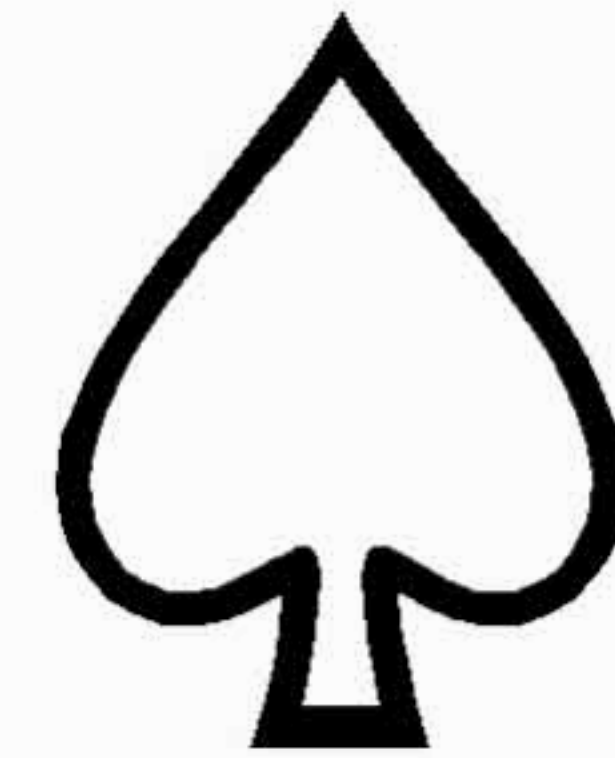
食べ方：食べられない

見分け方：タチイヌノフグリは花の色が濃い青で実はハート形。



たいせい
対生

ごせい
互生



スぺード

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度 ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)